

一般社団法人多摩区ソーシャルデザインセンター

助け合い活動 国際交流

このポスターでは、多摩SDCが2020年度より取り組んでいる、多摩区に住む外国人の方々との「国際交流」を紹介しています。この活動の目的は、多文化共生の街づくりを通して多摩区における外国人労働者の受け入れの基盤を作ることです。

川崎市 多摩区 よみうりランドや藤子・F・不二雄ミュージアムがあるよ

JAICA(港区)、上尾中央総合病院(埼玉)にコロナ禍における国際貢献などを学びに行きました

「地球の外国の方はどのくらいいるのかな？」

外国人技能実習生と交流できました

お世話になったお礼に、日本民家園にご招待
多摩SDC運営の古民家カフェはらっぱにて

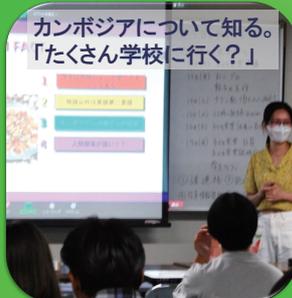
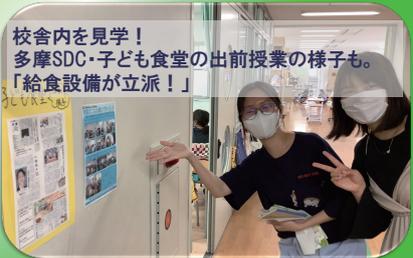
コロナ禍における 地域の学生による

助け合い活動 国際交流

(一社)多摩区ソーシャルデザインセンター (多摩SDC)

日本の学校を見たい!

「日本の小学校が見たい」カンボジアの留学生がコロナ禍で日本の小学校の見学ができず困っていた。学生メンバーが同じ授業で知り合い動き出しました。



カンボジアから日本を見て

- ◆カンボジアの人はもっと勉強をしています!
- ◆日本は便利です。時給もいいです。
- ◆もっと本当のことを言わないと伝わらない。
- ◆牛丼屋でアルバイトしていました!

多摩SDCでは地域の中での国際交流を探っています。アンケートで「支援はいらない。自活できている。」などとも教えていただき、私たちのスタンスが問われていることがわかりました。昨年始まったばかりでこれからの取り組みですが、地域に合った助け合いの活動を広げたいです。